

令和4年度 史跡銚子山古墳環境整備工事実施設計

(1) 遺構表示工

後円部南西の周濠表示部は、雨水による表土流出を防ぐため、地被植栽を行う。
また、表面水を分散するため、側溝（U240）を設置し、既存側溝に排水する。

工法比較検討表

項目	種子散布(吹付)	客土吹付	植生シート
概要	種子、肥料、木質繊維を混合し、圧縮空気により吹き付ける。	種子散布(吹付)の材料に緑化基盤材(パーク堆肥)を追加し、1cm～3cmで吹き付ける。また、表土の侵食防止となる。	種子を装着したシートを全面に張り付け、ピンで固定する。また、表土の侵食防止となる。
工事費	210 円／㎡	1000 円～2300 円／㎡	800～1000 円／㎡

(2) 遺構復元工

ア) 葺石復元

集積保存している葺石を利用し、葺石復元を行う。二和土は真砂土に対して8%の消石灰を混合する。



私市円山古墳（綾部市）

イ) 円筒埴輪

円筒埴輪の復元レプリカ（磁器製）を製作し設置を行う。



私市円山古墳（綾部市）

(3) 学習施設工

ア) 案内板（本体：ステンレス, 盤面：ステンレスホーロー板）



大山崎瓦窯跡（大山崎町）



高麗寺跡（木津川市）

イ) 説明板

傾斜型（本体：ステンレス, 盤面：ステンレスホーロー板）



大塚山古墳（野洲町）

説明板にはAR・VRまたはQRコードの活用も検討する。

置き型（本体：花崗岩, 盤面：陶板）



大山崎瓦窯跡（大山崎町）

ウ) パノラマ説明板 (本体: 花崗岩, 盤面: 陶板)



大山崎瓦窯跡 (大山崎町)

(4) 便益施設工

ア) 四阿

規模: 柱芯 5400×2700

屋根 6900×4200



野外卓: 天板・座板-木製 脚部-鋼材



野外卓: 木製

イ) ベンチ

置き式



擬木製 590kg



木製 100kg



座板-木製 脚部-擬石 100kg (40*2+20)

背もたれ付き (木製・擬木製)



(5) 安全管理工

ア) フェンス（板塀）

民地との境界に遮蔽としてフェンス（板塀）を設置する。

木製



合成木材＋アルミ製



アルミ製



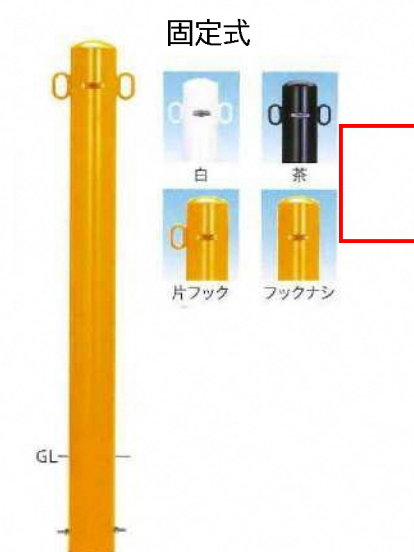
イ) 進入防止柵

1 段目テラスに立ち入らないように進入防止柵を設置する。



ウ) 車止め

周濠部へ車両が入らないように車止めを設置する。遺構面が浅く、基礎の施工ができない箇所は移動式とする。



移動式



木製 20kg

移動式



スチール製 10kg

(6) 広場工

周濠表示部と農道との間の空間を多目的広場として整備する。(勾配 0～10%)

ア) 芝生保護材



設置時 高麗寺跡 (木津川市)



5ヶ月後

イ) 脱色アスファルト舗装



平野塚穴山古墳 (香芝市)

ウ) インターロッキングブロック舗装

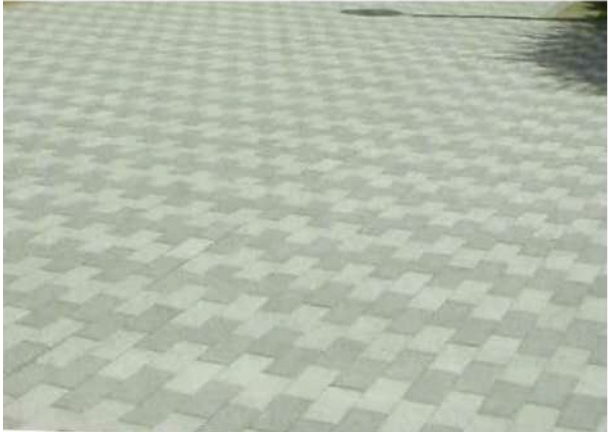
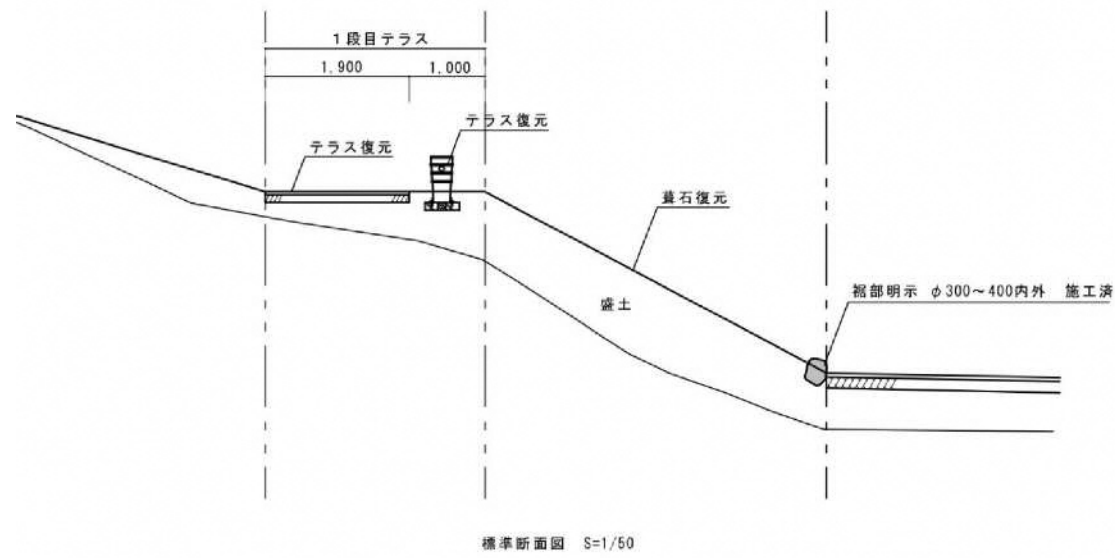
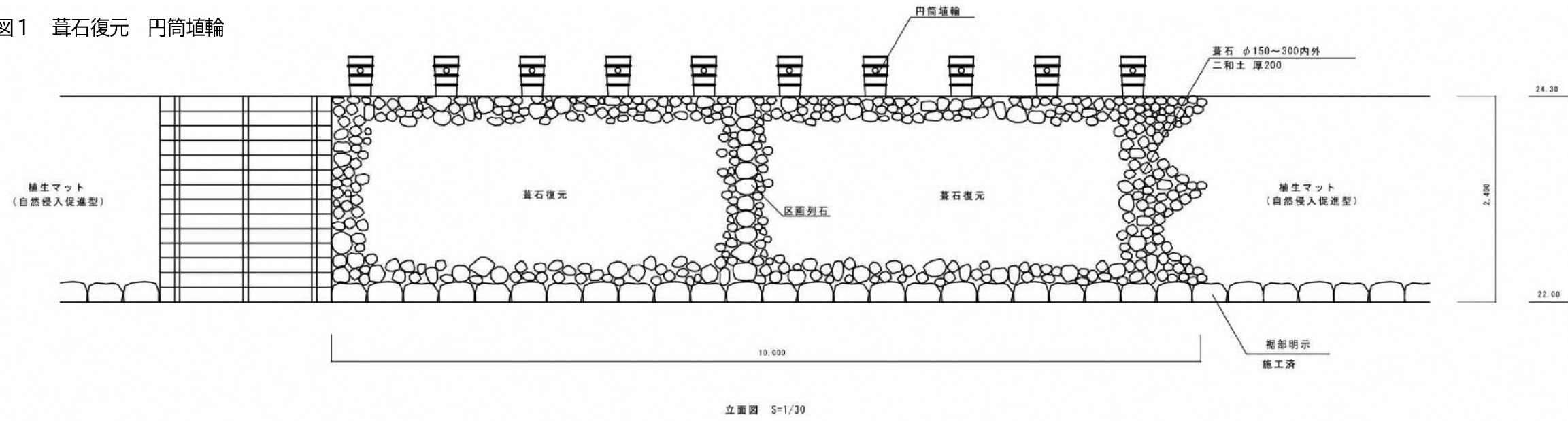
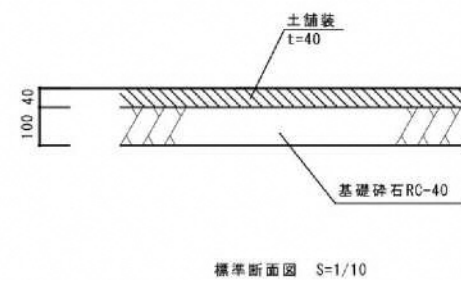


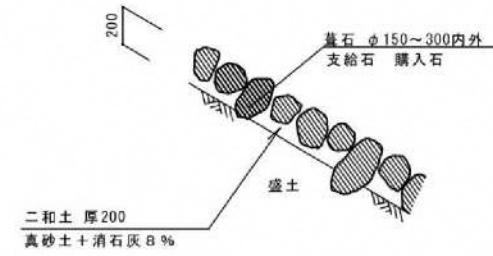
図1 葦石復元 円筒埴輪



テラス復元



葦石



円筒埴輪

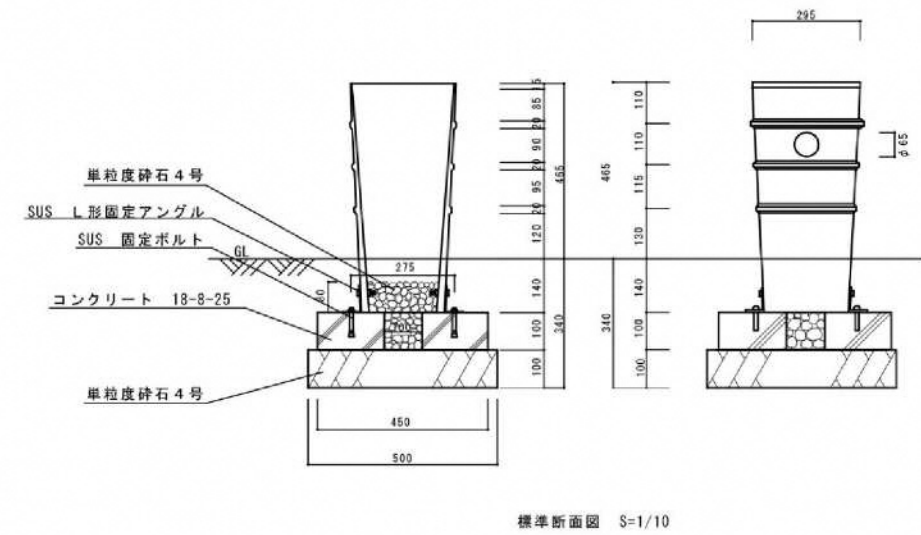
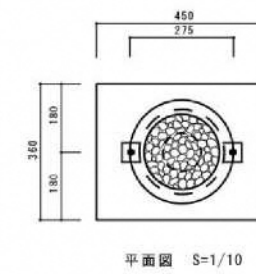


図2 案内板

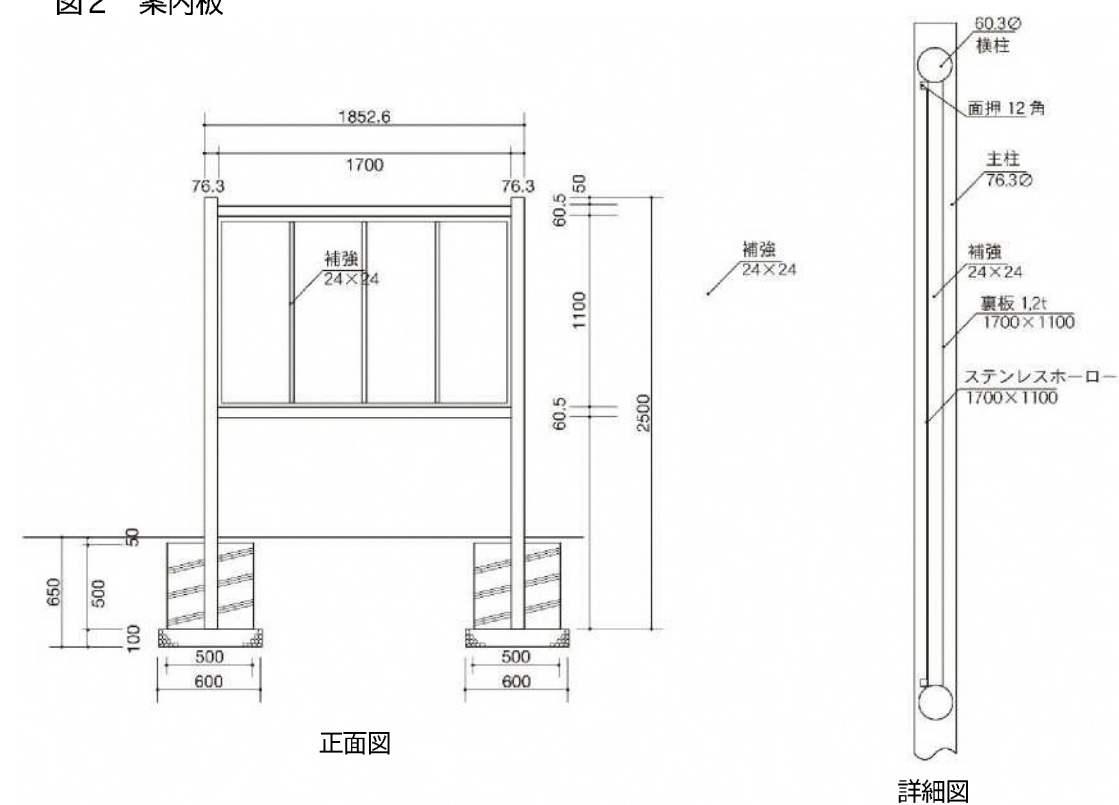


図3 説明板（傾斜型）

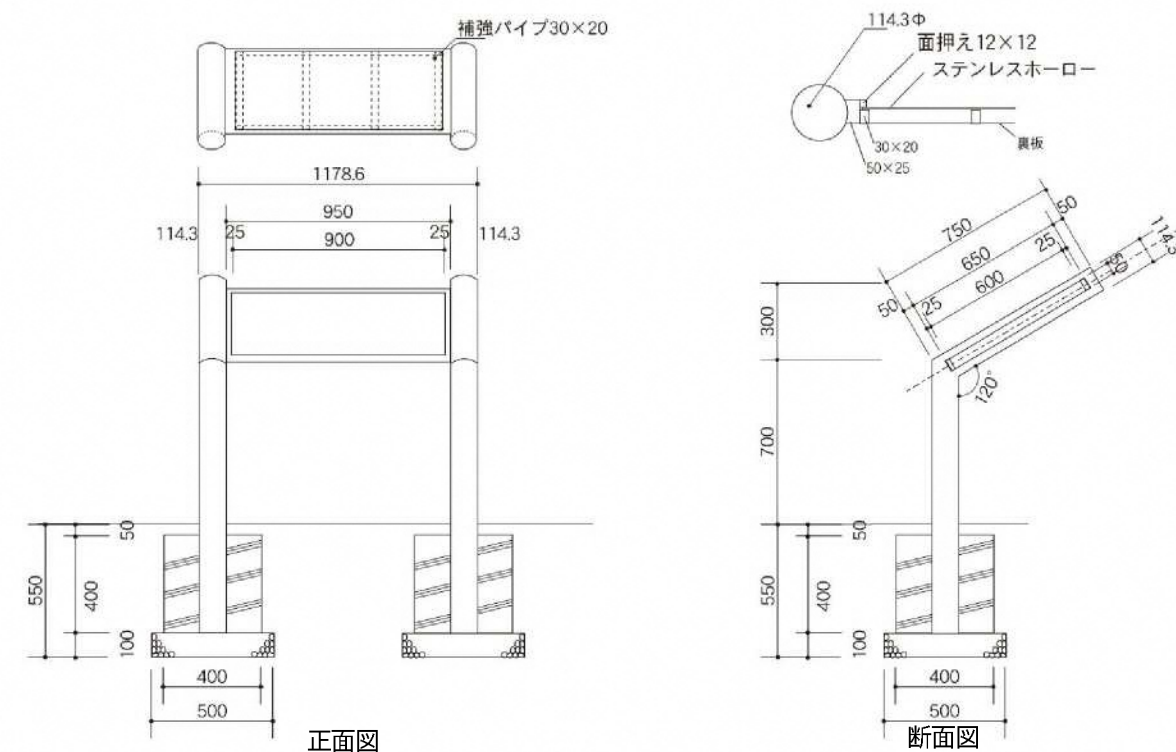


図4 パノラマ説明板（説明板（置き型）：陶板1枚）

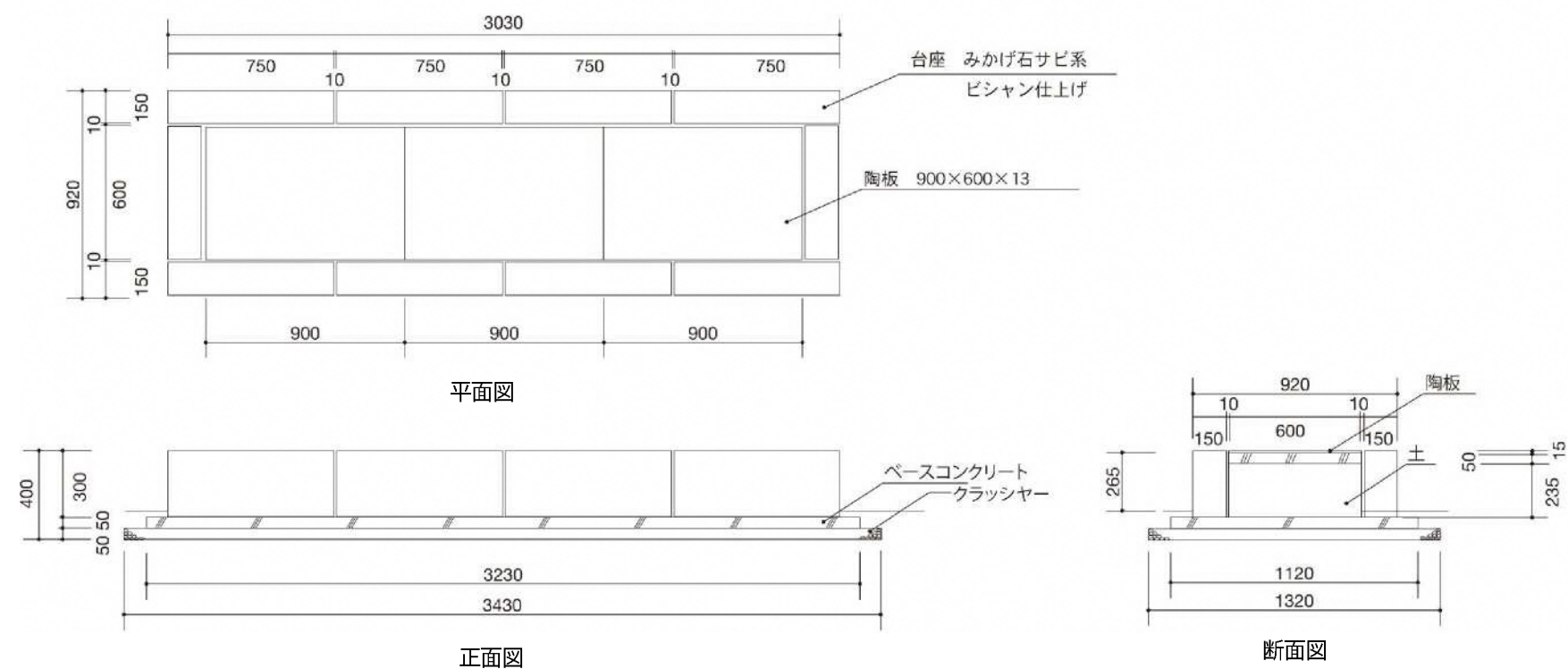
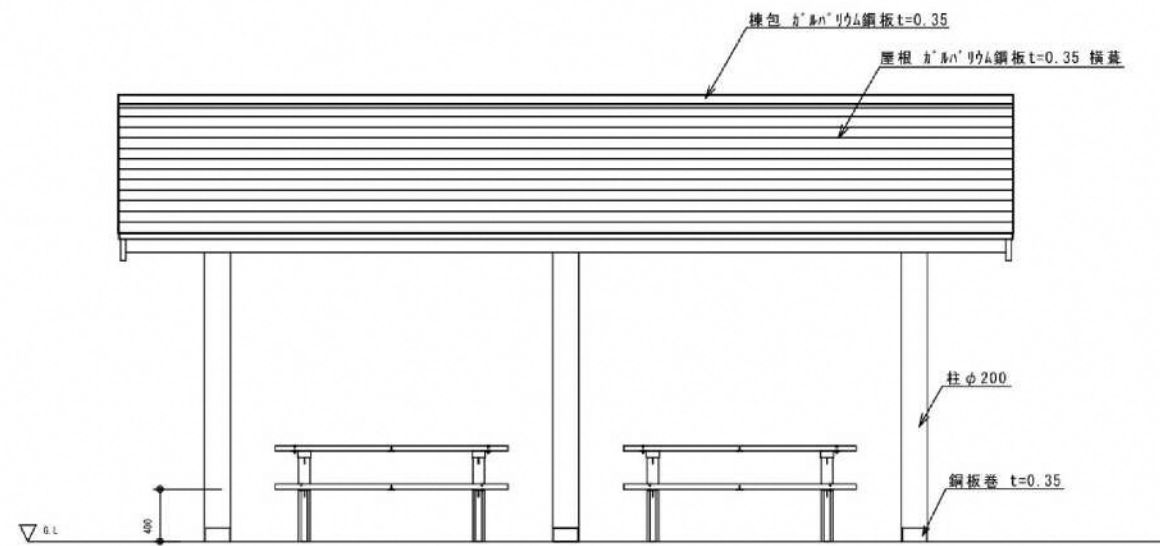
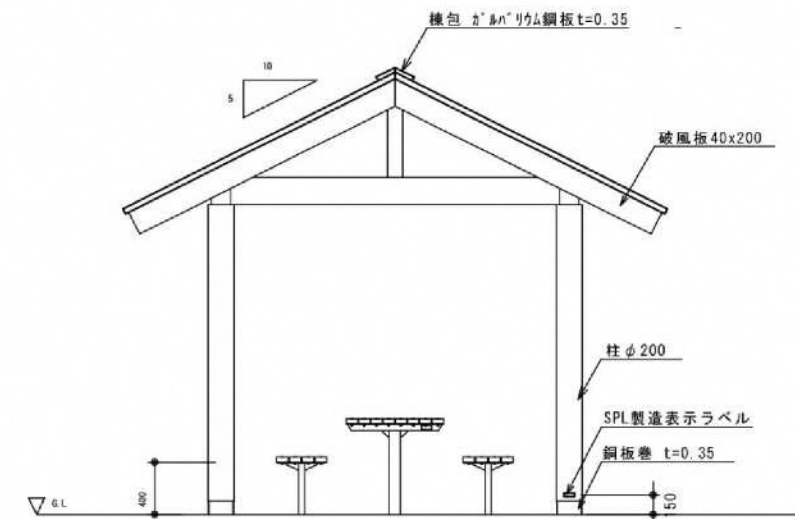


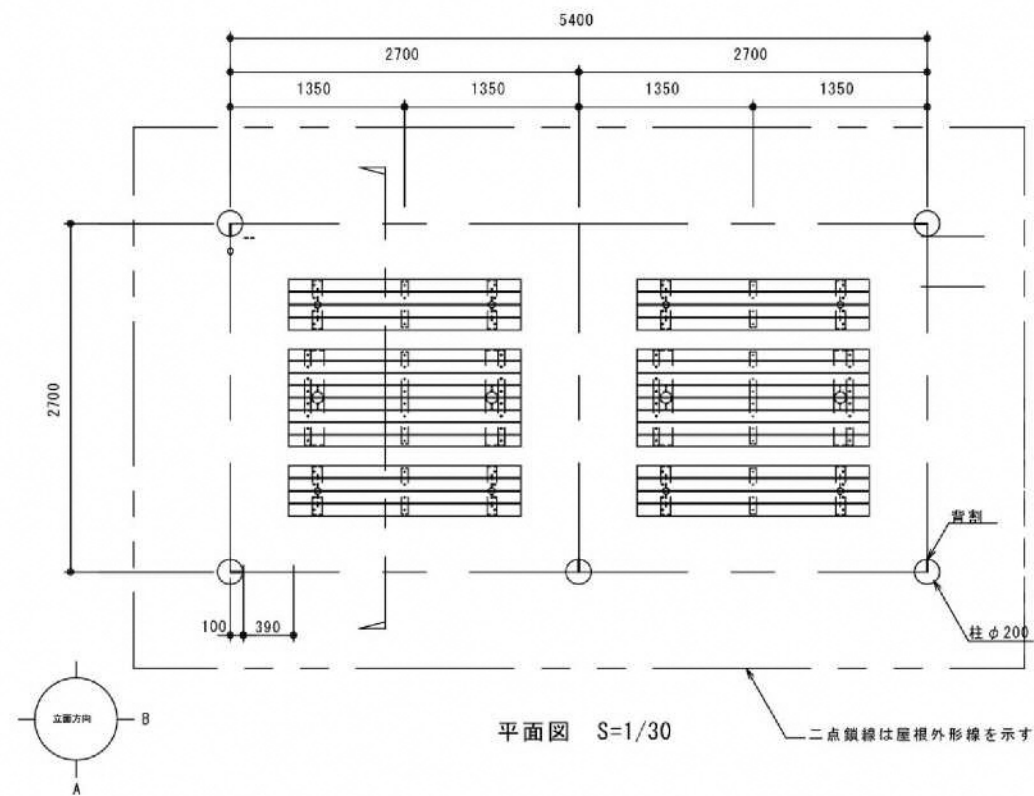
図5 四阿



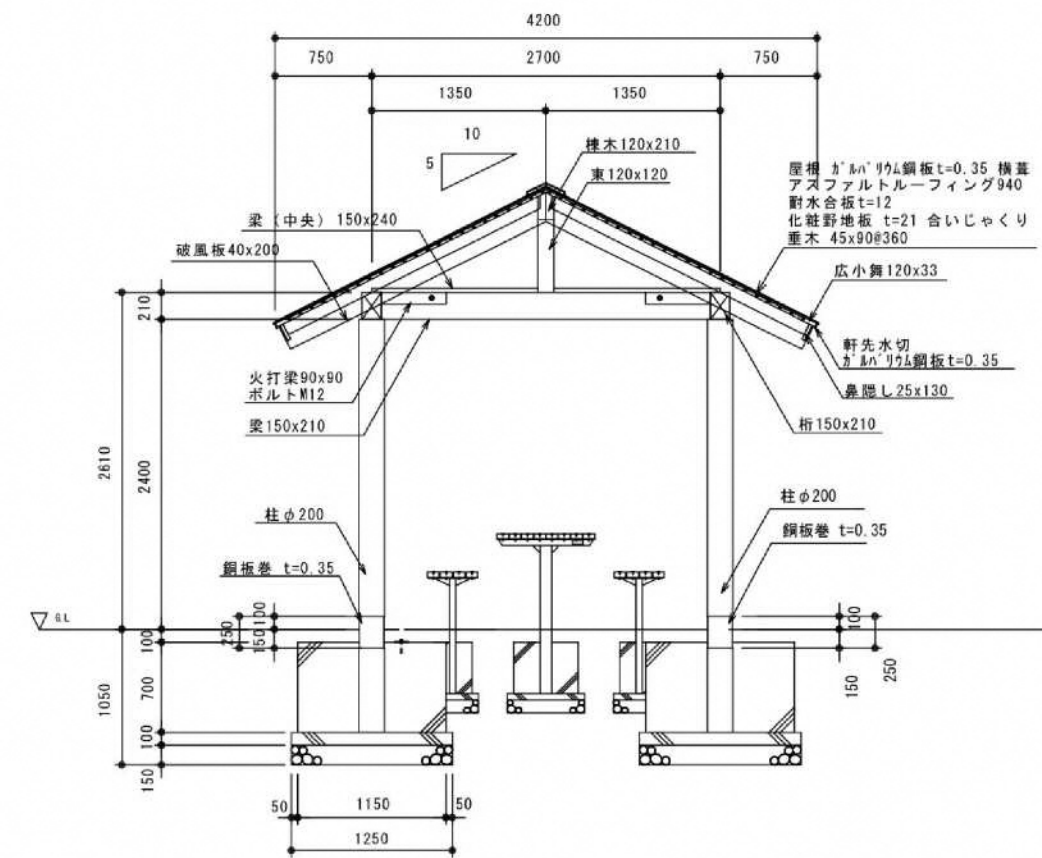
A 立面図 S=1/30



B 立面図 S=1/30



平面図 S=1/30



断面図 S=1/30

図6 バンチ（置き式）

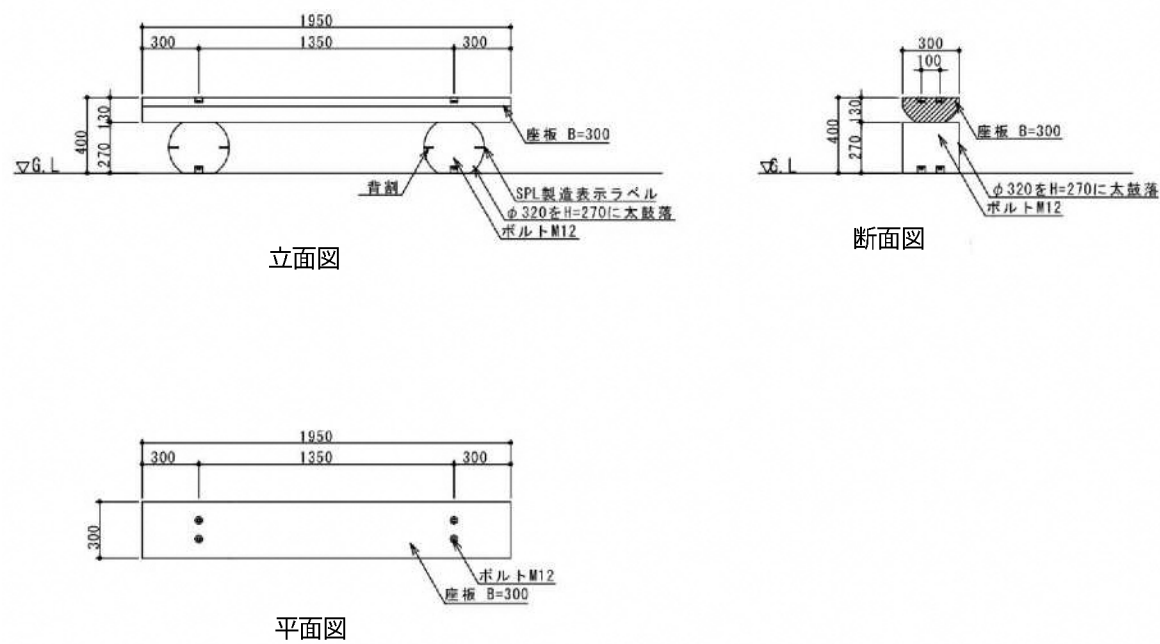


図8 バンチ（背もたれ付き）

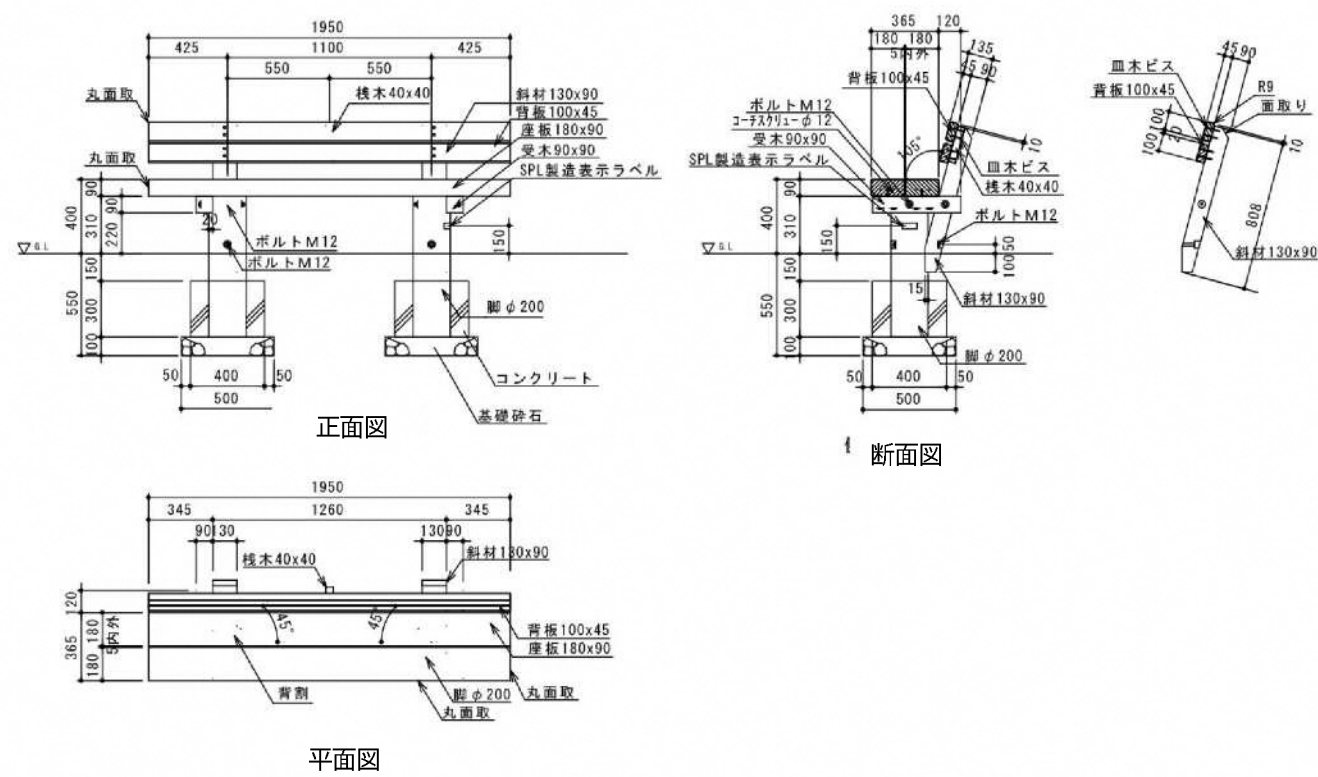


図7 バンチ（置き式 脚部-擬石）

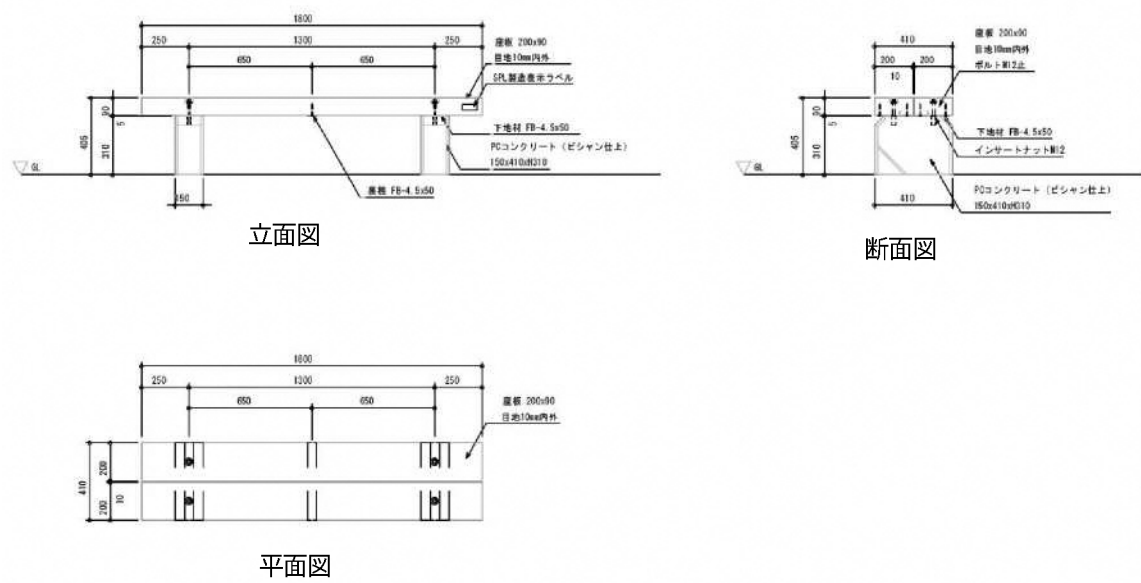


図9 板塀

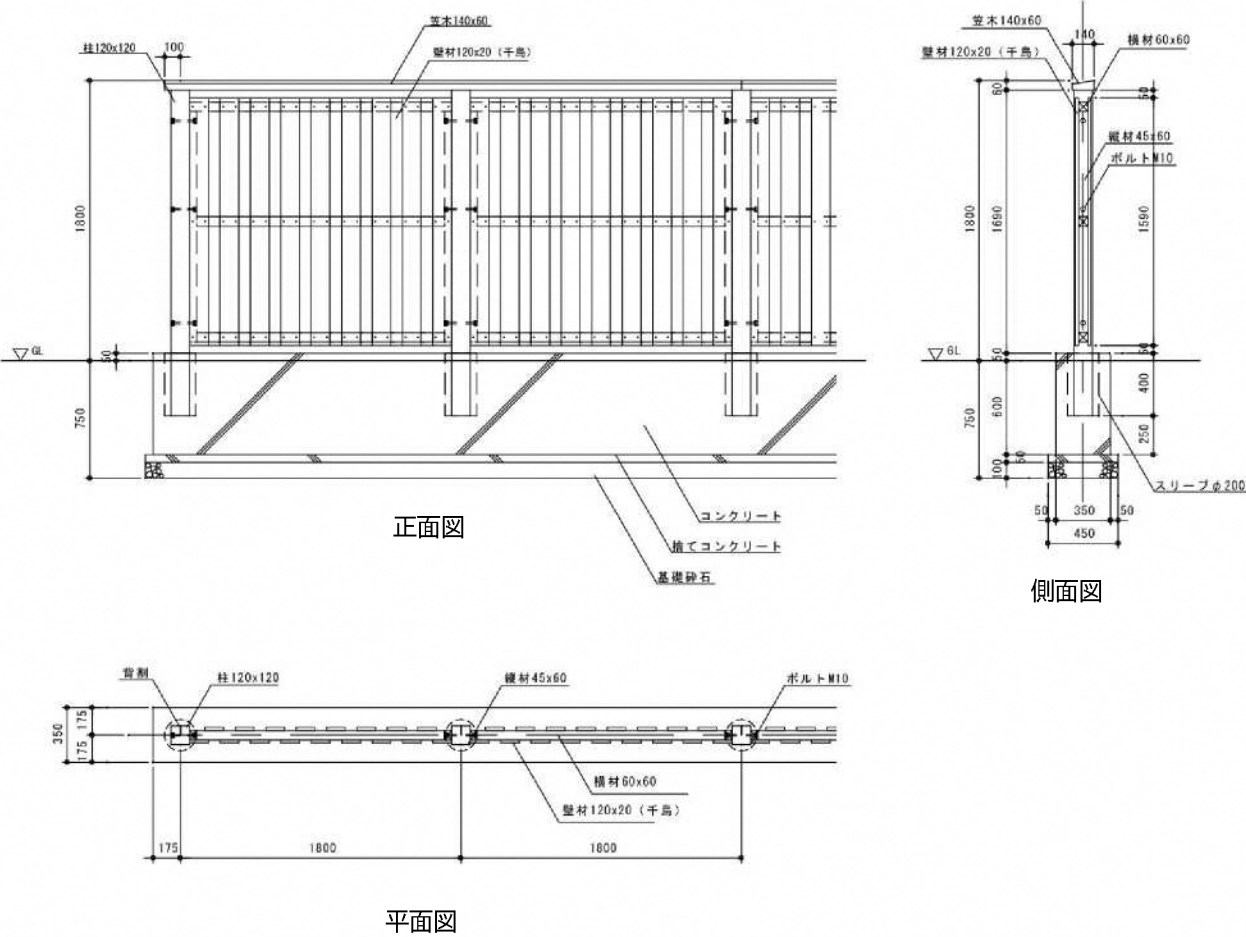


図11 車止め

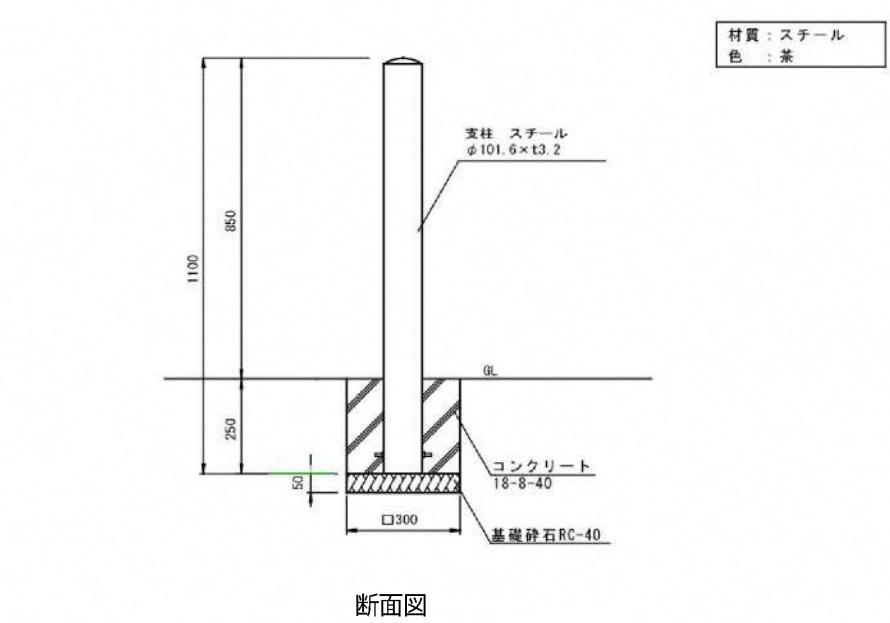


図12 車止め (移動式)

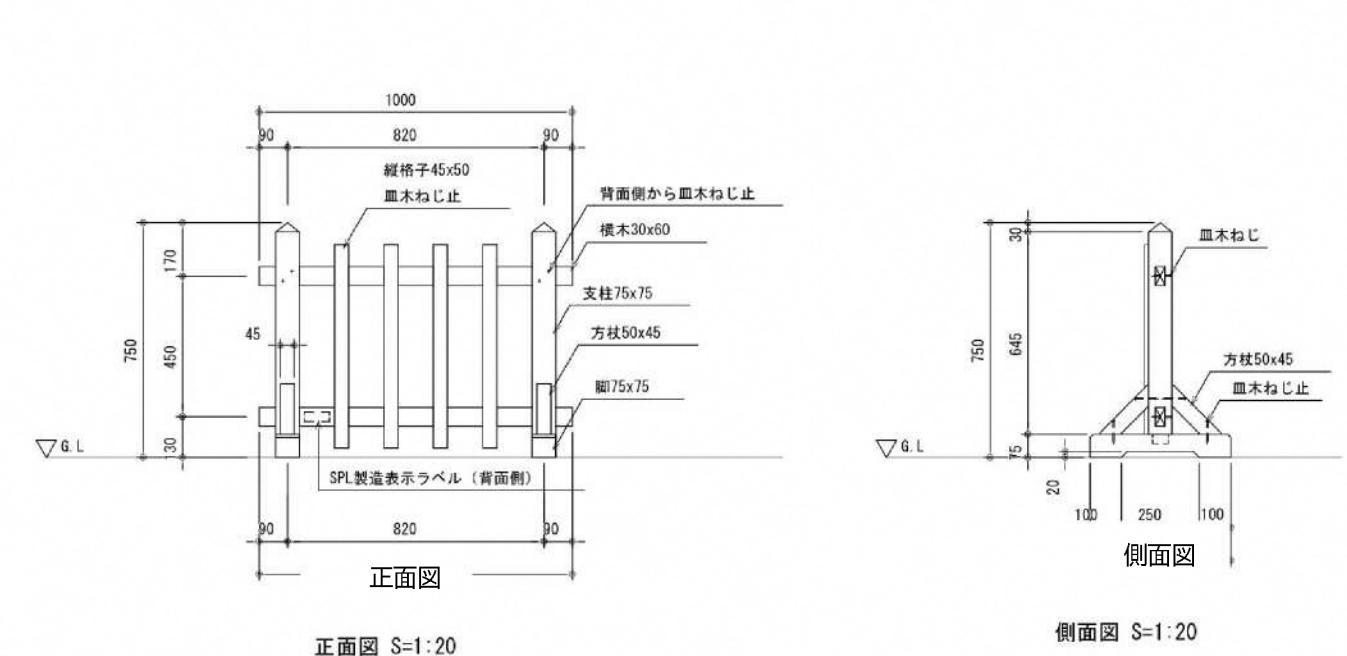


図10 進入防止柵

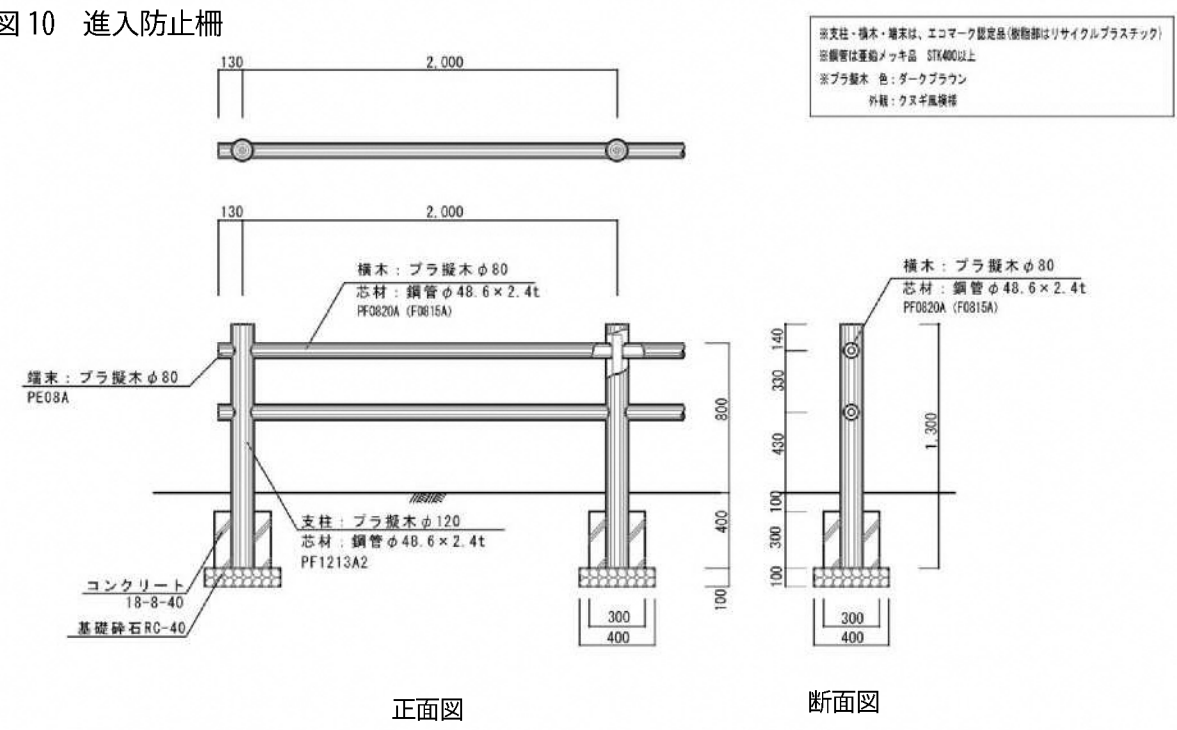


図 13 便益施設

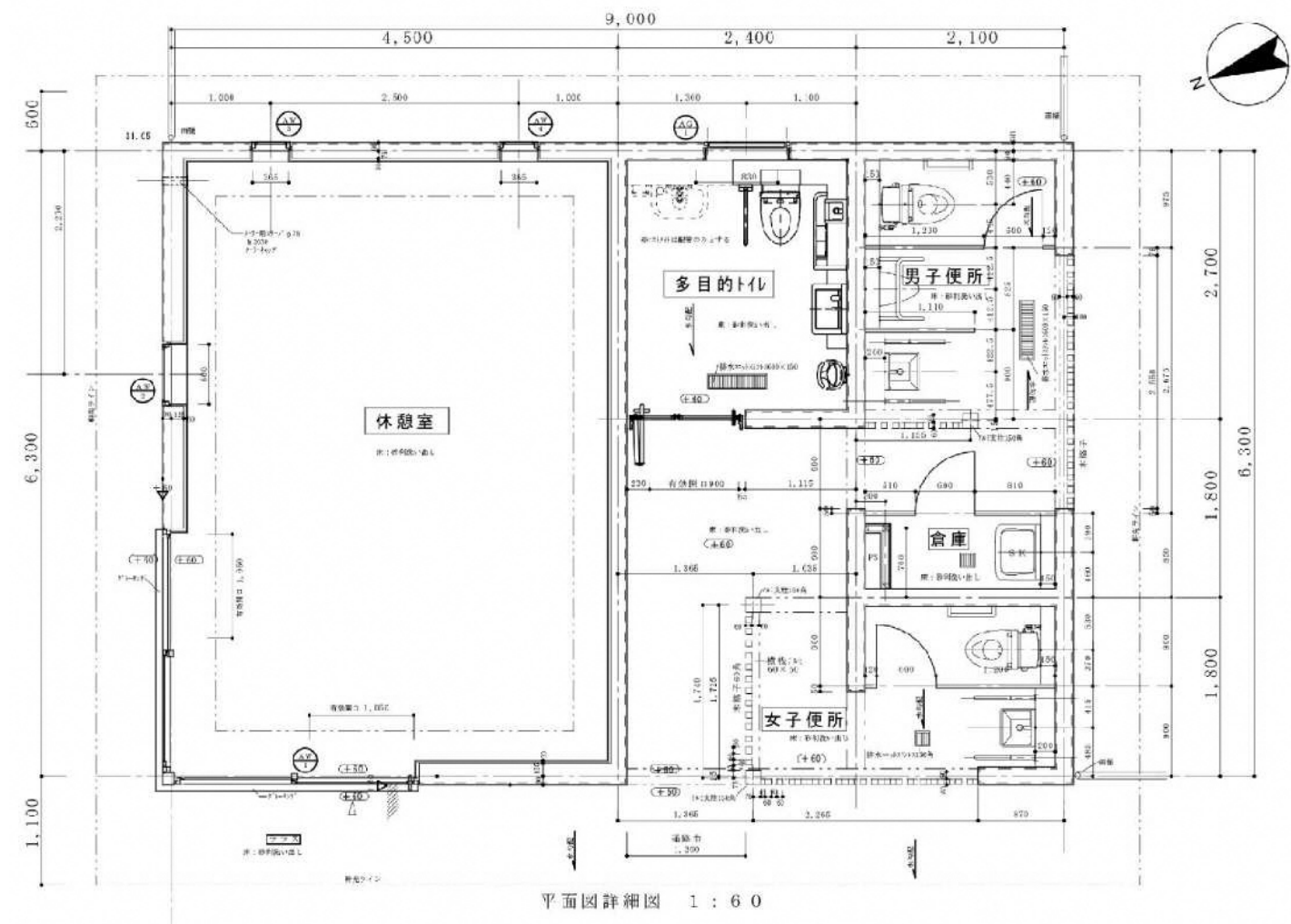


図 14 便益施設配置図



A案



B案